

足立議員

## 気候変動も考慮した対策を主張

自民党の足立敏之参院議員は16日の参議院災害対策特別委員会で、今夏の豪雨や台風によって各地で深刻な被害が発生したことを踏まえ、治水面でダムが担う役割が大きいことを強調した上で、「気候変動の影響も考慮して、中止となったダム事業を復活させるべき」と主張し、国土交通省の見解をただした一写真。



中止ダム事業 選択肢から排除せず検討

### 参院災害対策特別委

この質問に対し、国交省の岡村次郎水管理・国土保全局長は、気候変動による降雨量増大の影響も考慮した流域治水の重要性を述べた上で、「河道掘削などの対策に加え、中止となったダム事業も選択肢から排除せず検討する」と答弁した。これは中止ダム事業が再開する可能性もあり得ることを示唆したといえる。

足立議員は、事業中止となったダム事業の具体例として、水資源機構が群馬県片品村で進めていた戸倉ダムと、直轄による長野県伊那市の戸草ダムを挙げ、既に一定程度用地補償が進んでいたと指摘。両ダムとも、地元から事業再開を求める声が上がっていると訴えた。

2020年7月豪雨による熊本県・球磨川の甚大な被害を受け、中止していた川辺川ダム事業は既に再開している。